



【はじめに】

戦後間もなく、祖国日本の復興を目指し青年会議所が産声を上げ、本年で68年目を迎えます。これまで先輩諸兄は創始の想いを受け継ぎながら、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、運動を展開されてきました。そんな伝統ある青年会議所の根幹に在るものは何なのか。それは愛する祖国の発展、自分自身が住み暮らすまちの発展、そして次代に明るい豊かな社会を繋いで行くという使命感ではないでしょうか。その伝統を受け継ぐ我々は今、青年会議所メンバーである事に情熱を持ち、愛するこのまちの為に、行動していると胸を張って言えるでしょうか。将来に不安を抱きながらも、現状の豊かさに甘えてしまい、情熱を持って行動する事に躊躇してしまっている様に感じます。我々が次代に向けて確かな一歩を踏み出すには、「明るい豊かな社会」とはどんな社会なのかを明確に想い描きなければなりません。このまちの、そして自分自身の目指すべき姿が無ければ、より良い社会を創造する事など出来ないのです。明るい豊かな社会とは、「自立」と「共助」が調和する、そんなまちの姿です。「自立」とは経済的にはもちろん、社会を構成する一員であるという自覚を高め、自助努力を続ける姿であり、「共助」とは国や地域、そして他者に生かされている事に感謝し、共に助け合い、共に励まし合いながら相互扶助の精神を持つ事です。まず我々メンバーが先頭に立ち、「自立」と「共助」の精神を大切にす地域を創り上げていく。そんなひとつづくり、まちづくりが実現すれば、後世に明るい豊かな社会を繋いでいく事が出来るはずで。今こそ青年会議所メンバーとして情熱を滾らせ、共に活動して参りましょう。

【自立した青年経済人として】

多私たちの国日本は、先人達のたゆまぬ努力の結果、戦後著しい速度で復興を果たし、世界でも屈指の経済大国へと発展致しました。そして現在では、企業は常に進化し続けなければ、経済変化の渦に飲み込まれ、生き残って行く事が出来ない時代となりました。しかしその競争の中で、いつしか利己主義が社会にはびこり、経済をリードする上場企業でさえ、偽装や改ざんを行う等の耳を疑う報道が後を絶ちません。今まで以上に企業の社会的責任が問われる今日に於いて、我々は青年会議所メンバーである前に、社会を構成する青年経済人として、仕事を通じて社会に貢献して行く必要があるのではないのでしょうか。経済とは元来「世を治め、民を救う」という「経世済民」に由来する言葉であり、「世のため、人のため」という理念から成り立っています。その理念に基づき、日本人は古来より「三方善」という、他国には無い素晴らしい精神性の商慣行がありました。その精神は、利益のみを追求する行為とはかけ離れたものであり、他を慮る事を最も大切にす価値観であったはずで。こんな時代だからこそ、忘れ去られてしまった美しい精神性を取り戻す必要があるのです。確固たる道徳心を持ち、常に企業や組織を変革し続けていくという気概と資質を兼ね備えた青年経済人を目指して行かなければなりません。我々は日本人古来の精神性を学び、これまでの慣習に捉われる事無く、新しい事に取り組む進取力を高め、社会貢献を前提とした経済視野を養う事で共助の精神を持ち、地域に根付き地域と共に発展する青年経済人を育成する事が、JAYCEEとしての責務だと考えます。我々が市民意識変革運動の推進者としてふさわしい姿となり、力強い一歩を踏み出して参りましょう。

【共助愛溢れるまちの創造】

昨年、イギリスが国民投票によってEUを脱退するという、衝撃的なニュースが世界を駆け巡りました。この問題は、我が国日本に於いても決して他人事ではありません。昨年の参院選の結果、憲法改正という国の将来を我々の判断に託される時代となった今、自分自身が投じた一票が、国やまちの未来を決定していく事に真剣に向き合う必要があると考えます。政治や行政、そして生活の基盤である憲法に関心を寄せなければ、国やまちの未来を語る事も、有権者としての責任を果たす事も出来ないのです。まずは我々大人が、政治や行政が自分たちの暮らしに密接に関係している事を再認識する事で有権者としての自覚を持ち、また国やまちの将来が自分の投じた一票によって左右される事に自覚と責任を持たなければなりません。その判断の下で権利を行使出来るよう、「政策リテラシー」を身に付ける必要があるのです。そして次代を担う子ども達には、一人で生きているのではなく、支え合って生かされているという共助の精神を伝え、地域への愛着と周囲への感謝の心を育み、自分達の住むこのまちを愛し、人に感謝する心豊かな大人へと導いて参ります。自治意識の重要性を幅広く伝搬し、愛するまちの未来を真剣に想う人々を増やし、やさしさ溢れる子ども達を育む事の出来る、自立と共助が調和した力強い地域の創造を目指して参ります。

【結びに】

青年会議所運動は、常に内外に前向きな意識変化を求め運動を展開して行かなければなりません。しかし、戦後復興を目指したまちの姿と物質的に豊かになった現在の姿とは、想い描く「明るい豊かな社会」は違うはずで。歴史が示す様に、環境変化に対応する事が出来なければ、生物も組織も衰退の道を辿ります。過去を繰り返すのではなく、過去から多くを学んだ我々だからこそ、時代に応じて常に進化し、魅力ある運動を展開して行かなければなりません。そしてその私たちの姿を見て、一人でも多くの同志が集結し、志を同じく活動してくれる事に繋がると確信しています。より良い地域の創造を目指す団体として、今の時代に求められる運動発信に全力で取り組み、賛同と共感の輪を責任世代に広げて参ります。そして我々の所属する青年会議所には、自分自身を成長させる多くの機会が存在します。しかし漠然と時を過ぎていけば、そんな貴重な体験に巡り合う事も出来ません。我々には40歳という限られた時間しかないのです。今この瞬間を懸命に生き、自らが「明るい豊かな社会」を明確に想い描き、愛するまちの為に情熱を滾らせ行動を起こす事が、人生の大いなる財産となるはずで。今を生きる青年として高い志を持ち、希望溢れる未来の為に、信じた道をメンバー一丸となり、決して歩みを止める事無く進んで参ります。

執行部紹介

副理事長
田財千裕



新年あけましておめでとうございます。本年度、恩田理事長のもと、副理事長を務めさせていただきます田財千裕と申します。我々、メンバーは多治見青年会議所会員として地域に与える可能性を認識し誇りを持つと共に、現状に捉われない実践可能な行動計画力と、人や社会に貢献できる経済視野を養い、まちのリーダーとして自立した青年経済人を育成して参ります。副理事長として至らぬ点が多々あるかとは思いますが、精一杯努めて参ります。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

副理事長
小境邦裕



新年あけましておめでとうございます。本年度副理事長を務めさせていただきます、小境邦裕と申します。この国やまちの未来を真剣に考え、当事者意識をもった大人たちと、地域に感謝することのできる、おかげさまの心を持った子どもたちを増やして参ります。また、財政面においても時代のニーズに合致しているのか、地域から必要とされているものなのかを見定め、メンバー一人ひとりが多治見青年会議所の財政状況に対して共通認識をもつことができるよう努めて参ります。1年間精一杯頑張ってお参りますので、宜しくお願い致します。

副理事長
牧田充広



新年あけましておめでとうございます。本年度、伝統ある多治見青年会議所の副理事長を務めさせていただきます牧田充広と申します。全メンバーが1年間の方向性を理解し、同じベクトルを持ち、進取果敢に青年会議所活動が出来る様、組織を下支えして参ります。また、我々がやっている事業活動を市民の皆様にも広く認知して頂ける様、広報活動を発信し、賛同と共感の輪を広げて参ります。1年間精一杯頑張ってお参りますので宜しくお願い致します。

専務理事
虎山宗哲



新年あけましておめでとうございます。本年度恩田理事長のもと専務理事を務めさせていただきます虎山宗哲と申します。事務局の長として、組織の下支えはもちろんのこと、各委員長との連絡及び調整を行い、各委員会の現状も把握していくことで、メンバー一人ひとりがその力を最大限発揮出来るよう、正確かつ円滑な会務の運営を行って参ります。また、この一年を自分自身のさらなる成長の機会とさせて頂くことで、今まで以上に魅力ある運動を発信し続けることができる会員となるよう努めて参ります。1年間よろしくお参り致します。

委員長紹介

総務・渉外委員会
委員長 原正嗣



新年明けましておめでとうございます。総務・渉外委員会では多治見青年会議所の組織力を向上させていく為に、メンバー同士の結束力、同じ目的に向かう連帯意識、先輩諸兄や済州南元JC、他L O Mからの学び、この三本柱をしっかりと下支えして参ります。そして市民の皆様にも賛同と共感の輪を広げるべく、我々の魅力ある運動を積極的に発信して参ります。

共助愛溢れるまちの創造委員会
委員長 小澤全和



新年あけましておめでとうございます。共助愛溢れるまちの創造委員会では、国民意識と有権者としての責任意識を醸成し、国やまちの未来を真剣に考えることのできる当事者意識を持った大人を増やして参ります。また、未来を担う子ども達にはおかげさまの心を養い感謝の心を育む事で、人やまちを愛する大人へと導いて参ります。

青年経済人育成委員会
委員長 荒地俊暁



新年あけましておめでとうございます。青年経済人育成委員会では、社会へより良い影響を与えるために会員意識の高揚を図り、これまでの慣習に捉われない一歩を踏み出す進取力を養い、経済活動を通して社会に貢献し社会と共に繁栄する経済視野を広げて参ります。

新入会員紹介

総務・渉外委員会
青木 一真



共助愛溢れるまちの創造委員会
伊藤 祐輝



総務・渉外委員会
加藤 廣太郎



青年経済人育成委員会
日下部 里奈



出向者紹介

(公社) 日本青年会議所出向者

教育再生グループ 憲法輿論確立会議 委員 久野元騎

(公社) 日本青年会議所東海地区協議会出向者

地域連携構築委員会 委員 大嶽秀暢
第44回JC青年の船「とうかい号」国際交流委員会 委員 三和義幸

(公社) 日本青年会議所東海地区岐阜ブロック協議会出向者

監査担当役員 若尾淳一
アカデミー委員会 委員 早川義記
岐阜ブロック大会2017実行委員会 委員 加藤聖規

副会長 久野元騎
とうかい号運営委員会 委員 三和義幸

日本青年会議所業種別部会 窯業部会出向者

窯業部会 直前部会長 小池高寛 窯業部会 監事 安藤基臣
窯業部会 常任委員 吉田企貴



第44回 JC 青年の船「とうかい号」

第43回 JC 青年の船「とうかい号」の一般乗船者の募集を行なっております。募集日時は、2017年2月となっており、対象者は原則として多治見市に在住または勤務する年齢20歳からおおむね35歳までの男女を対象とした研修プログラムです。本年度は「航海の先に広がる無限の未来～光輝く東海の実現に向けて～」をスローガンとし2017年5月28日(日)から6月3日(土)までの7日間をかけて台湾に向けて出港します。多治見青年会議所として乗船者に研修を通じて学んだ事を職場・地域等で活かす事ができるよう支援して参りますので是非ともよろしくお参り申し上げます。